

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月8日

上場会社名 阪神内燃機工業株式会社

上場取引所 大

コード番号 6018 URL <http://www.hanshin-dw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木下 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門管掌

(氏名) 上林 啓亮

TEL 078-332-2081

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	10,857	△25.5	1,141	△47.8	1,064	△48.7	650	△45.6
21年3月期第3四半期	14,565	—	2,185	—	2,073	—	1,195	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	40.74	—
21年3月期第3四半期	74.85	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	21,592	8,773	40.6	549.36
21年3月期	23,773	8,241	34.7	516.10

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,773百万円 21年3月期 8,241百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△26.5	1,250	△48.7	1,050	△53.6	600	△52.9	37.57

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	16,000,000株	21年3月期	16,000,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	30,303株	21年3月期	30,244株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	15,969,727株	21年3月期第3四半期	15,972,153株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、金融危機以降、一部生産や輸出につきましては緩やかな回復が続いているものの、設備の過剰感に円高が加わり企業収益を圧迫する状況が続いております。

世界経済におきましても、米国や欧州の景気回復には力強さがなく、中国の内需拡大や新興国頼みの状況が続いております。

当社の関わる海運・造船業界におきましても、世界的な海上輸送量は低迷を脱しきれず、運賃市況の不透明感、信用収縮の影響による資金調達難等が継続し、国内外の新船建造は低迷状態が続いております。

このような企業環境のもと、当第3四半期累計期間の業績につきましては、受注高は前年同期比45.8%減の7,733百万円となり、売上高は同25.5%減の10,857百万円となりました。受注残高は同32.4%減の9,729百万円となりました。

損益面につきましては、資材費の高止まりや操業低下の影響が大きく、購入品の内製化や標準作業によるムダの排除等に取り組んでいるものの、営業利益は1,141百万円(前年同期比47.8%減)、経常利益は1,064百万円(同48.7%減)、四半期純利益は650百万円(同45.6%減)となりました。

事業区分別では、主機関の売上高は、輸出向けの減少により7,094百万円(同30.6%減)となりました。部分品・修理工事の売上高は3,763百万円(同13.5%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当四半期末の総資産は21,592百万円となり、前期末比2,181百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産が増加したものの、現金及び売掛金、製品が減少したことによるものであります。負債につきましては12,819百万円となり、同2,712百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少及び、法人税等の支払、前受金の減少によるものであります。純資産につきましては、8,773百万円となり、同531百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,372百万円となり、前会計年度末と比較して1,791百万円の減少となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、300百万円(前年同期は2,090百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益1,112百万円を確保し、減価償却費617百万円を計上したものの、仕入債務が1,239百万円減少したこと及び、法人税等の支払1,051百万円によるものであります。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、910百万円(前年同期は1,204百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入1,500百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出1,610百万円及び、定期預金の預入による支出800百万円があったことによるものであります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、580百万円(前年同期は389百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の借入による収入1,500百万円があったものの、長期借入金の返済による支出1,899百万円があったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における営業利益の進捗状況から、平成21年11月4日に公表いたしました業績予想の修正は行っておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、前会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

①税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,222,582	4,713,888
受取手形及び売掛金	4,416,170	4,886,640
有価証券	10,473	10,462
製品	942,412	1,356,660
仕掛品	1,713,410	1,646,805
原材料及び貯蔵品	1,252,933	1,260,608
その他	448,047	450,873
貸倒引当金	△125,200	△165,800
流動資産合計	10,880,832	14,160,139
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,454,606	652,323
構築物(純額)	295,153	119,994
機械及び装置(純額)	2,110,422	1,796,290
車両運搬具(純額)	13,999	17,499
工具、器具及び備品(純額)	161,338	199,724
土地	5,817,871	5,817,871
建設仮勘定	7,027	147,299
有形固定資産合計	9,860,420	8,751,003
無形固定資産	30,987	33,056
投資その他の資産		
投資有価証券	500,115	511,269
その他	397,778	336,177
貸倒引当金	△77,900	△17,900
投資その他の資産合計	819,994	829,547
固定資産合計	10,711,402	9,613,607
資産合計	21,592,234	23,773,746
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,657,570	3,896,720
1年内返済予定の長期借入金	591,828	1,905,228
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払法人税等	—	554,118
前受金	1,794,067	2,321,994
賞与引当金	100,530	246,000
製品保証引当金	17,400	23,900
その他	1,780,294	1,681,367
流動負債合計	7,081,690	10,769,329

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
社債	790,000	860,000
長期借入金	1,909,001	995,072
再評価に係る繰延税金負債	1,957,968	1,957,968
退職給付引当金	830,966	729,387
役員退職慰労引当金	67,100	70,700
その他	182,359	149,290
固定負債合計	5,737,395	4,762,418
負債合計	12,819,086	15,531,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	41,825	41,825
利益剰余金	4,987,797	4,449,033
自己株式	△9,067	△9,053
株主資本合計	5,820,556	5,281,805
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	92,724	100,326
土地再評価差額金	2,859,867	2,859,867
評価・換算差額等合計	2,952,592	2,960,193
純資産合計	8,773,148	8,241,998
負債純資産合計	21,592,234	23,773,746

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	14,565,152	10,857,157
売上原価	10,348,015	7,987,850
売上総利益	4,217,136	2,869,307
販売費及び一般管理費	2,031,327	1,727,731
営業利益	2,185,809	1,141,575
営業外収益		
受取利息	6,336	9,504
受取配当金	6,825	2,807
補助金収入	—	8,960
受取保険金	6,107	—
受取補償金	25,290	62,110
その他	8,248	10,065
営業外収益合計	52,807	93,447
営業外費用		
支払利息	34,603	42,840
退職給付費用	122,400	122,400
その他	8,021	5,114
営業外費用合計	165,024	170,354
経常利益	2,073,592	1,064,668
特別利益		
固定資産売却益	4,046	—
投資有価証券売却益	292	—
貸倒引当金戻入額	9,841	61,772
製品保証引当金戻入額	—	6,500
特別利益合計	14,180	68,272
特別損失		
固定資産処分損	57,073	20,387
投資有価証券売却損	1,104	—
特別損失合計	58,177	20,387
税引前四半期純利益	2,029,595	1,112,553
法人税等	834,000	462,000
四半期純利益	1,195,595	650,553

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,029,595	1,112,553
減価償却費	431,530	617,643
賞与引当金の増減額(△は減少)	△118,100	△145,470
退職給付引当金の増減額(△は減少)	92,485	101,578
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,300	△3,600
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,000	24,263
受取利息及び受取配当金	△13,162	△12,312
支払利息	34,603	42,840
投資有価証券売却損益(△は益)	811	—
固定資産処分損益(△は益)	53,026	20,387
売上債権の増減額(△は増加)	472,345	△122,068
たな卸資産の増減額(△は増加)	△913,444	355,317
仕入債務の増減額(△は減少)	997,393	△1,239,150
その他	108,774	25,057
小計	3,172,159	777,041
利息及び配当金の受取額	24,247	19,075
利息の支払額	△25,062	△44,690
法人税等の支払額	△1,080,466	△1,051,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,090,878	△300,545
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	△800,000
定期預金の払戻による収入	100,000	1,500,000
有形固定資産の取得による支出	△1,200,078	△1,610,952
有形固定資産の売却による収入	6,891	1,300
無形固定資産の取得による支出	△9,083	△2,475
投資有価証券の取得による支出	△1,645	△1,651
投資有価証券の売却による収入	1,145	—
ゴルフ会員権の取得による支出	△7,482	—
その他	6,121	3,361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,204,131	△910,417
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△261,000	△1,899,471
社債の償還による支出	—	△70,000
自己株式の取得による支出	△1,295	△13
配当金の支払額	△127,304	△110,857
財務活動によるキャッシュ・フロー	△389,599	△580,342
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	497,146	△1,791,306
現金及び現金同等物の期首残高	2,660,281	3,163,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,157,428	1,372,582

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

受注及び販売の状況

(1) 受注の状況

(単位 百万円：未満切捨)

区 分		前年同四半期	当四半期	(参考)前期
		〔平成20. 4. 1 から 平成20. 12. 31 まで〕	〔平成21. 4. 1 から 平成21. 12. 31 まで〕	〔平成20. 4. 1 から 平成21. 3. 31 まで〕
受 注 高	主 機 関	9,927 (69.5%)	3,970 (51.3%)	11,682 (67.9%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	4,347 (30.5%)	3,763 (48.7%)	5,526 (32.1%)
	合 計	14,275 (100.0%)	7,733 (100.0%)	17,208 (100.0%)
受 注 残 高	主 機 関	14,403 (100.0%)	9,729 (100.0%)	12,853 (100.0%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	- (-)	- (-)	- (-)
	合 計	14,403 (100.0%)	9,729 (100.0%)	12,853 (100.0%)

(2) 販売の状況

区 分		前年同四半期	当四半期	(参考)前期
		〔平成20. 4. 1 から 平成20. 12. 31 まで〕	〔平成21. 4. 1 から 平成21. 12. 31 まで〕	〔平成20. 4. 1 から 平成21. 3. 31 まで〕
主 機 関		10,217 (70.1%)	7,094 (65.3%)	13,521 (71.0%)
部 分 品 ・ 修 理 工 事		4,347 (29.9%)	3,763 (34.7%)	5,526 (29.0%)
合 計		14,565 (100.0%)	10,857 (100.0%)	19,047 (100.0%)
(うち輸出分)		(6,693) (46.0%)	(2,605) (24.0%)	(8,653) (45.4%)